

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	雇用安定事業				財務会計上の事業名	労働福祉一般事務事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	9	1	1	担当部署名	地域活性課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第9節労働者施策の推進				
	項目	項目1 雇用安定事業の促進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	ハローワーク・大阪府総合労働事務所・とよの若者サポートステーションなどと連携し、就職説明会やセミナーを開催する。
めざす姿(目標)	就業機会の増加に努め、雇用の促進・安定を図る。
事業の対象(誰を、何を)	就労および労働に関する様々な問題を抱える市民
事業の手段・方法(どのように)	ハローワーク・大阪府総合労働事務所・とよの若者サポートステーションなどと連携し、就職説明会やセミナーを開催する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	103	105	150	
主な内訳	電信料	49	52	54
	負担金	44	44	44
	消耗品費	10	9	17
	その他()			
財源	国・府支出金			
	地方債			
	うち受益者負担 B			
	一般財源 C	103	105	150
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
労働セミナー受講者数	24人	20人	30人
就職面接会(参加者数)	107人	76人	80人
就職面接会(採用者数)	27人	20人	30人
☆成果の達成状況	B.順調に推移していない		
・上記「達成状況」選択の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止になるなど、好調だった平成30年度に続く実績を達成できず、おおむね例年通りの結果となった。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	各分野の専門機関と協力してイベント開催を行うことで、効果的かつ効率的に雇用安定施策を実施できている。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催が困難な状況にあるほか、民間事業者の採用活動の縮小が始まっており、就職希望者にとって厳しい状況が続いている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>各種イベント実施について事前PRの手段が固定化している。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 従来のPR手段である広報紙への掲載は継続しつつ、新たに市役所ロビーでのパネル展やメールマガジンの配信など、より多くの市民の目に触れるよう、PR手段を拡充する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	シルバー人材センター補助事業				財務会計上の事業名	シルバー人材センター補助事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	9	1	2	担当部署名	地域活性課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第9節労働者施策の推進				
	項目	項目1雇用安定事業の促進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	円滑な運営を促進するため、公益社団法人池田市シルバー人材センターに対して、補助金を交付する。
めざす姿(目標)	高齢者の能力活用により、活力ある地域社会づくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	おおむね60歳以上の市民を会員とする公益社団法人池田市シルバー人材センター
事業の手段・方法(どのように)	高齢者に就職機会を提供(斡旋)するシルバー人材センターの運営を助成し、高齢者に就業の機会を提供する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	29,500	29,500	29,500	会員数 就業件数	682人 2,668件	660人 2,644件	770人 2,700件	
主な内訳	29,500	29,500	29,500					
補助金								
財源				☆成果の達成状況	A.順調に推移している			
国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	高齢者を取り巻く環境変化の影響もあり、会員数、就業件数ともに微減となったが、おおむね高齢者の就業機会を十分に提供できているため。			
地方債								
その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	29,500	29,500	29,500	・上記「有効性・効率性」選択の理由	高齢者に就業機会を提供することに特化している同センターの運営を助成することで、効果的かつ効率的に高齢者の能力を活用した活力ある地域社会づくりに寄与している。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>再任用制度や定年延長制度の導入に伴い、65～70歳以上の新規会員が増え、会員の平均年齢の益々の高齢化が進行するものと推察される。一方で、民間事業者では高齢者雇用の推進による雇用環境の多様化が図られており、同センターを経由せず直接雇用を行うケースの増加が想定される。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後も、公益社団法人池田市シルバー人材センターへの補助を通じて、高齢者の能力活用と、活力ある地域社会づくりを推進するため、事業については現状維持とする。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	地域就労支援事業				財務会計上の事業名	地域就労支援事業/臨時的人件費事業/旅費事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	9	2	1	担当部署名	地域活性課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第9節労働者施策の推進				
	項目	項目2就労困難者の就労支援の充実				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	しごと相談・支援センターを運営し、就労支援コーディネーターによる相談、制度周知などを実施する。
めざす姿(目標)	障がい者、母子家庭の母親、中高年齢者など、働く意欲がありながら就労できない市民に対して、雇用・就労支援を促進する。
事業の対象(誰を、何を)	中高年齢者、若年者、障がい者、ひとり親家庭の母親等就職を妨げる様々な要因を抱える市民
事業の手段・方法(どのように)	しごと・支援センターにおいて就労・雇用に関する相談や関係機関との連絡・調整などを行うことにより就労の支援を行う。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)			
	(決算)	(決算)	(予算)								
事業費(千円) A	1,066	814	1,173	就労相談	4件	10件	10件	A.順調に推移している			
主な内訳	賃金/非常勤職員報酬	684	657						937		
	インターネット使用料	72	72						75		
	電信料	63	64						70		
財源	国・府支出金				☆成果の達成状況	A.順調に推移している			相談件数は減少することが望ましいが、相談業務の周知という面では順調に推移している。		
	地方債										
	その他()									☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)
	うち受益者負担 B									☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)
	一般財源 C	1,066	814	1,173						・上記「有効性・効率性」選択の理由	社会保険労務士を雇用し、効果的かつ効率的に相談環境を提供している。
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%								
受益者負担率 B÷A											

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、近隣市では相談件数が増加傾向にあるところ、本市の相談件数は横ばいとなっている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>本市の相談件数が横ばいとなっていることから、同センターの周知不足が考えられる。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 同センターの周知および活用を促すため、PRチラシの作成やパネル展の実施など、周知を徹底する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	勤労者施策推進事業				財務会計上の事業名	勤労者互助会補助事業
第3期実施計画の区分 章/節(施策)/項目/事業番号	1	9	3	1	担当部署名	地域活性化課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第9節労働者施策の推進				
	項目	項目3働く者の権利擁護の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	しごと相談・支援センターでの労働相談や勤労者互助会の会員数増加のための広報、運営補助を行う。
めざす姿(目標)	労働相談を充実させるとともに、勤労者互助会の事業所数・会員数の増加を促し、働きやすい環境をつくる。
事業の対象 (誰を、何を)	市内中小事業所及び商店に勤務する事業主、従業員、及び市外に勤務する市民
事業の手段・方法 (どのように)	中小零細事業所で勤務する人の福祉共済事業を実施する勤労者互助会の運営費補助を行う。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	
	事業費(千円) A	5,500	5,500	5,500
主な内訳	補助金	5,500	5,500	5,500
財源	国・府支出金			
	地方債			
	その他()			
	うち受益者負担 B			
	一般財源 C	5,500	5,500	5,500
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
指標値 (活動・成果)	事業所数	76か所	78か所	80か所
	会員数	810人	834人	820人
	相談件数	26件	32件	30件
☆成果の達成状況		A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由		勤労者互助会に係る実績は微増となっており、働きやすい環境づくりを推進できている。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか		A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか		A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由		池田商工会議所へのアウトソーシングによるサービスの充実、事務手続きの簡略化に寄与している。労働相談は、社会保険労務士による専門的な相談環境を提供している。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>平成31年4月の働き方改革関連法施行を背景に、福利厚生を含む労働環境の見直しが目玉されている。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 市内事業所で働く従業員の労働環境改善のため、しごと相談・支援センターの労働相談ならびに、池田市勤労者互助会への運営補助を継続する。</p>